

明日にむかって

発行/社会福祉法人 陽光会 陽光保育園 編集/陽光保育園「明日にむかって」編集委員会
発行日/2006年8月31日 住所/東京都板橋区大谷口上町23-1 ☎03(3956)1068

50号記念

「明日にむかって」50号おめでとう!

「明日にむかって」は、1987年、陽光保育園創立40周年記念事業実行委員会が誕生させた「地域新聞」です。1991年からは、発行者が社会福祉法人陽光会陽光保育園となり、編集は「子どものしあわせを願う会」が担当しました。50周年を迎えた1999年に「子どものしあわせを願う会」が解散し、編集は陽光保育園「明日にむかって」編集委員会に受け渡し、現在にいたっています。新園舎落成とともに50号の記念発行となったことは本当に嬉しいことです。19年の間、保育園の様子・福祉の情勢・子育て情報等を地域に向けて発信してきました。読み返すと、さまざまな困難があった中、多くの方の支えを受けて、子どもたちのためにしっかりと歩んできた道のりを感じます。(T・R)

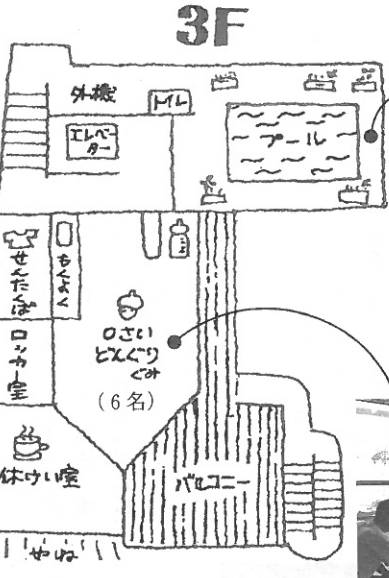
ついに 陽光保育園 新園舎完成!!

7月9日、落成式も行いました

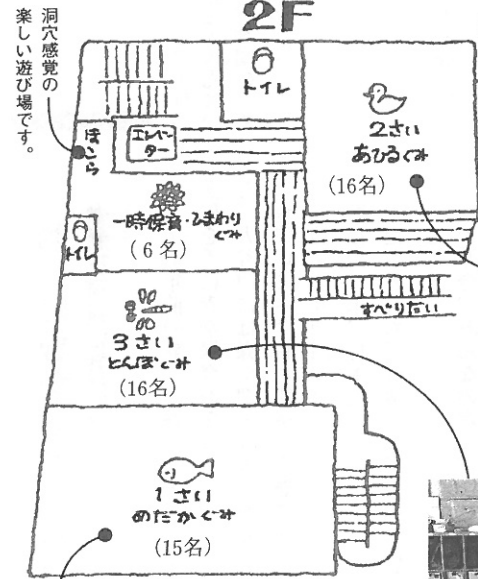
去る6月24日、関係者の思いをたくさん詰め込んだ、陽光保育園の新園舎がついに完成しました。玄関脇の道路に面した壁は卒園した子どもたちの絵で彩られ、訪れた人をやさしく迎え入れてくれます。保育室の広さを確保したため、砂場は以前より小さくなってしまいましたが、1.5mの深さがあるので、豊富な砂でたっぷり遊ぶことができます。室内は木のぬくもりを感じる素晴らしい空間が広がります。子どもたちはもちろん大喜び、保護者の皆さんにも大好評です。職員も新しい環境の中で充実して保育をしています。ここに至ることができたのも、ご協力いただいた皆様のおかげと心から感謝しています。まだ新園舎をご覧になっていない方は、どうぞいつでもお立ち寄りください。(陽光保育園園長 高田礼子)



東側から見た新園舎の全景。子どもたちの絵で彩られた壁の右手が玄関です。



▲屋上のプール。夏の日にはプール遊びは欠かせません。

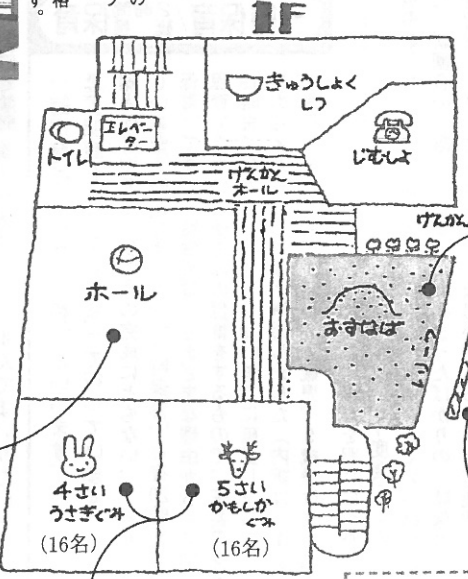


ガラスブロックの出入り

楽しい遊び場です。



▲2歳児クラスの自慢はガラスブロックの壁面。子どもたちの格好の遊び場です。



▲明るい日射しの降り注ぐ3歳児クラスの部屋。ロッカーは子どもたちが使いやすいように工夫されています。



▲とても広い1歳児クラスの部屋。給食を食べ終わったら、右手の空いたスペースで遊びます。



▲4歳児クラスから見たホール。床材は栗の木で、子どもたちが思いきり飛び跳ねても平気です。▶ホールから見た4歳児クラス(右手)と5歳児クラス。3つの部屋の仕切りをはずすと、広いスペースとして使えます。



▲暑かったこの日は、砂場にシートを敷いて水遊び。狭い砂場も、使い方によっていろいろに遊べます。

陽光保育園改築工事概要	
所在地	板橋区大谷口上町23-1
設置および経営主体	社会福祉法人陽光会
定員	85名
敷地面積	288.5㎡
延床面積	462.11㎡
建物構造	鉄骨造3階建て
工期	2005年9月22日～2006年6月24日
総事業費	223,143,064円

卒園児の絵をモチーフにした絵が描かれた壁

新園舎の設計に託した思い

陽光保育園建設委員長 清水 長

平沢静子先生、園舎を新築しました。あなたが残してくださった物心両面にわたるご遺産なくしては不可能でした。設計段階での考えを書き残しました。限られた敷地と予算のなかでは、どうしてもどこかに皺寄せが行きます。園の経営や運営に関わる理事長や園長でなく、直接関係のない者を建設委員長にしたのは、将来にこりを残さない配慮です。将来の少子高齢化社会を考えると、保育だけでなく高齢者への福祉も視野に入れる必要があります。狭い園舎に不釣り合いなエレベーターがあるのはそのためです。床暖房は今や常識です。しかし、現役の保護者との討論から、体温調節能力を育てるために、あえて導入していない部屋があります。西側は擁壁です。近隣への配慮です。保育室をできるだけ広くとるために倉庫がありません。教材や膨大な量の運動会やバザーの備品は別途借用している倉庫に入れています。0歳児の部屋の床は、皮膚感覚を育てるために楡のムク材です。室内の造作はできるだけ木を用い、予算の関係で輸入材になりましたが、塗料は植物性です。柑橘系の香りがすると思います。職員室をとることができませんでした。休憩室も泣いてもらいました。事務室では作り付けのデスクでスペースを稼がしました(そのかわりに広大な床下収納庫があります)。広いテラスは濡れ縁です。数年を経ずして腐るでしょう。でも裸足保育に必要です。出費を覚悟で木製にしました。厨房には最新の設備を導入しました。

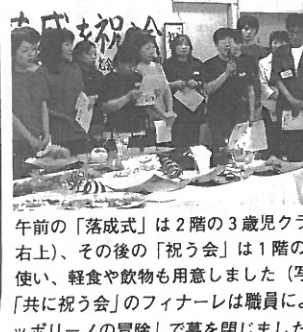
落成式

7月9日午前午後

午前中に「落成式+落成を祝う会」、午後から「落成を共に祝う会」を行いました。当日は、午前午後合わせて200名近くの方が来てくださり、お祝いの言葉や励ましの言葉、また保育園への熱い想いも語っていただき、改めて陽光を支えてくださる皆様の素晴らしさと、歴史の重さを感じました。これから子どもたちの未来のために「明日にむかって」を合言葉に、みなさんと力を合わせていきます。



祝法 式会 陽光保幼 会会長・多田純也さんの獅子舞で幕開け。



午後の「落成式」は2階の3歳児クラスで(写真右上)、その後の「祝う会」は1階の部屋を全部使い、軽食や飲み物も用意しました(写真右下)。「共に祝う会」のフィナーレは職員による合唱「チッポリーノの冒険」で幕を閉じました(写真上)。

社会福祉法人 陽光会 理事長が替わりました

この4月、社会福祉法人陽光会の理事長が替わりましたので、ご報告いたします。退任した片山高司氏は、半世紀もの長きにわたって陽光保育園に関わり、社会福祉法人陽光会の設立と同時に理事に就任して29年、その後理事長として11年、陽光会と陽光保育園のために尽力されてきました。長い間、ほんとうにお疲れさまでした。新たに理事長に就任した星野紀氏は陽光保育園の前園長です。今後ともよろしく願いいたします。

長い間、ご協力ありがとうございました 理事長退任にあたって

前理事長 片山高司

陽光保育園創設者であり、初代理事長であった平沢静子さんから理事長職を引き継ぎ、大任をまかされて来ましたが、この度、新園舎落成を機に、退任することとなりました。

一九四九年、新しい憲法が出来て間もなく、現在地に木造平屋建ての小さい保育園が出来ました。当時の母親の一人は「平沢静子追悼文集」に「姑、小姑、頑固な亭主たちに振りまわされていた当時の私たちにとって、陽光保育園の運営はまさに新鮮でした。父母の会、勉強会は何時でも夜、テーブルを囲んで、男性と対等にもの言えるのです」と書いています。保育園の民主的運営の原点を見出すことが出来ます。



片山高司 (かたやま たかし)
1927年横浜市生まれ/1944年船舶兵特別幹部候補生/1946年台湾から復員/1955年陽光保育園父母の会会長/1967年社会福祉法人陽光会設立、理事に就任/1995年理事長就任

この原点に立って、陽光保育園の運営を担う陽光会の理事長という職は、在園・卒園の父母、後援会、地域の協力者、職員の皆さんの協力なしには務まりませんでした。長い間の皆さんのご協力、お力添え有難うございました。退任に際し心から御礼申し上げます。

親子でいっしょに遊びましょう

陽光保育園では、「保育園の子どもたちと遊びたい」「砂遊びを体験したい」「離乳食や子育ての相談にのってほしい」というご要望にこたえ、親子で参加できる広場を月1回設けています。お気軽にご参加ください。参加費は無料です。

- ・場所 陽光保育園
- ・時間 午前9時30分～11時 (赤ちゃんは10時30分まで)
- ・対象 0歳児～就学前のお子さんと保護者 (発達に障害のあるお子さんも大歓迎です)

参加ご希望の方は、事前にお電話ください。☎3956-1068

◀2006年度年間予定▶

4月26日(水) 砂あそび
8月16日(水) 水あそび
12月20日(水) リズムあそび
5月17日(水) 砂あそび
9月27日(水) 砂あそび
1月17日(水) 室内あそび
6月21日(水) さんぽ
10月18日(水) リズムあそび
2月21日(水) 粘土あそび
7月26日(水) 水あそび
11月15日(水) 火災いも
3月14日(水) さんぽ

*4～8月はすでに終了しています。
*お天気により変更する場合があります。
*0歳児は、赤ちゃん体操や日光浴など、室内でゆったり過ごします。
*動きやすい服装で、遊びによっては着替えやタオルをご用意ください。



ひまわり組の部屋

7月から新規事業として一時保育がスタートしました。新園舎の2階に「ひまわり組」一時保育室があり、これまでに延べ5人の子どもが利用しています。利用の理由は様々ですが、「子どもを預けるところがなく困っていた」とも助けかるところがないという保護者の方々の声を聞き、力になって本当によかったと、嬉しく思います。その反面、一時的であるがゆえに、一日いっしょに過ごし仲良く

新園舎での保育が始まるとともに、20時までの延長保育(2時間延長)も始めました。延長専任の私が火曜日、木曜日を担当して、他の日は職員がローテーションで担当しています。延長利用者は平均12人、15人(一日20人まで受けれます)。19時までの1時間延長の子どもには夕食、20時までの2時間延長の子どもには夕食を提供しています。食が終わった子から自由遊びに入り、前日の遊びの続きをしたり、ごっこ遊び

新園舎での保育が始まるとともに、20時までの延長保育(2時間延長)も始めました。延長専任の私が火曜日、木曜日を担当して、他の日は職員がローテーションで担当しています。延長利用者は平均12人、15人(一日20人まで受けれます)。19時までの1時間延長の子どもには夕食、20時までの2時間延長の子どもには夕食を提供しています。食が終わった子から自由遊びに入り、前日の遊びの続きをしたり、ごっこ遊び

改築にともなう 新規事業 のご案内

一時保育/2時間延長保育

一時保育は「ひまわり組」といいます。延長保育も「ひまわり組」で行っています。陽光保育園では、新園舎の完成にともない、7月から二つの新しい事業を開始しました。「一時保育」と夜20時までの「延長保育」です。一時保育は、さまざまな理由から一時的に家庭で保育できないお子さんの保育をするもので、延長保育は、従来19時までのところをさらに20時までに延長しました。また、定員も79名から85名に6名増員しました(内訳は、1歳児5名、2歳児4名、3歳児1名増、4歳児、5歳児は各2名減)。

一時保育☆利用のご案内

- 利用できる方
- 保護者の就労、求職、通院、通学、介護などにより家庭での養育が困難なとき
 - 保護者の傷病、出産、冠婚葬祭、その他緊急の事態が発生したときなど
 - 育児相談や健康診断などで、保育園での保育が必要と認められたとき
 - 一時的な集団保育の経験のため
 - その他、保護者の子育て不安やリフレッシュのためなど
- 対象児童 1歳以上で離乳の完了しているお子さん
(板橋区発行「すくすくカード」利用者は生後10か月から)
- 利用単位 1日4時間(半日)または8時間(1日)/1時間可
*保育料その他、詳しくは陽光保育園までお問合せください。

建設資金 寄付のご協力ありがとうございます

★05年12月26日、06年7月31日(敬称略、順不同)
高橋正樹、多田純也、並木敏子、小島八重子、小島重成、菊地タカ、中村盛義、武田仁、須賀誠子、宮沢光子、北沢三千子、田上喜久枝、那見那志恵、あさえ、吉永和男、和恵、松井孝博、霧田浩明、岩橋雅子、柳守政、吳栄植、高幸秀、本谷あゆみ、石塚かよ子、小泉靖浩、白柳守代、朱美、安藤三郎、山内サチ子、渡辺隆一、河村晴美、中込由美子、榎本恵美子、大内由紀子、川崎哲郎、佐々木亜耶、今井浩一、長島良子、矢部あみ子、片山高司、山口真由美、高橋美奈代、美咲、中西真一、早苗、小貫恵司、大原久美子、遠藤健一、渡辺一之、上平緑、小谷大生、大澤三智子、徳留人美、池田孝雄、家田貞治、江原史郎、田村修子、宮武恭子、石井正幸、奈美、高橋静雄、節子、安川信一郎、我妻典子、千野好子、佐藤和和、岡益代、小野寺千鶴子、福田花子、榎田みよ子、渡邊春枝、北村三枝子、小山陽子、向井芳子、名尾典子、内田真代、浦田裕子、劇場美江子、広山志保子、中村(荒馬座) 佐藤(みなみ板橋)おやこ劇場、矢野(なまこよし保育園)、紺野伊久り(こばと)の森保育園、秋山幸美(黎明保育園)、柳沢拓子(杉並ゆりかご保育園)、泉方子(緑の家保育園)、藤原昭美(とちの木保育園)、智子(こぐま保育園)、北ノ山保育園、新田保育園、陽光保育園、吉野智子(こぐま保育園)、白石とし子(労働者クラブ保育園) 第57回卒園児父母一同、陽光保育園父母の会、練馬「歌とリズム」の会、(株)カントー、福祉保育労働者支部陽光保育園分会、千葉北部酪農農業協同組合、陽光保育園後援会(はらから豆腐販売部、九二商店、網金治彦、みなみ板橋おやこ劇場、けやき測量設計、浅沼利彦、みなみ板橋おやこ劇場、けやき測量設計、浅沼計事務所、追川康、民俗「森越」土屋補代、竹山本店、南古谷第2保育園職員一同、むさしの保育園職員一同、なの花保育園職員一同、印西市大森保育園職員一同

なれても、保育を明日につなげていくことはできず、今度会えるのはいつだろう……と切なさでいっぱいになります。始まったばかりの一時保育、いろいろな思いがあるけれど、地域の子育て支援として、重要性和りやがいを実感しながら、これからのたくさんの子どもたちと出会うことを楽しみにしています。
(一時保育担当保育士 宗形 博美)

建設資金・財政活動の一環として、販売しています。在園児保護者の川上小百合さん(イラストレーター)のイラストの入ったとても素敵なTシャツです。どうぞご利用ください。
大人用 1500円
子ども用 1200円



星野 紀 (ほしの のり)
1940年東京生まれ/1961年～労働者クラブ保育園保育士/1968年～陽光保育園保育士/1979～2001年同園園長および社会福祉法人陽光会理事/2001～06年同法人理事長代行、八千代保育園園長/2006年4月社会福祉法人理事長就任

「明日にむかつて」を合言葉に歩んでまいりたいと思います。

五十七年前の夏、大谷口一丁目の水道タンク前の広場で、タンバリン一つと紙芝居を手に青空保育からスタートしたのが陽光保育園です。終戦間もない時でした。大谷口には森や畑、牧場があり、子どもたちは石神井川で泳いでいたと伝えられています。私が新宿で空襲にあい徳丸へ移って来たのもその頃です。高島平は見渡す限りの田んぼでした。戦後六十年、日本は変わりました。「ポストの数はほど保育所を！」の声は、子どもたちの育ち、母親の就労の場を保障し、また日本の高度経済成長にも貢献してきました。しかし今、みんなの声で築かれてきた公的保育制度が壊され、保育所も経済競争の中に押し込まれていきました。貧富の差から子どもたちの成長にゆがみが現れてはなりません。陽光会はこのからも、保育要求にとどまらず地域のくらしの中のさまざまな声に耳を傾け、「明日にむかつて」を合言葉に

建設資金

★05年12月26日、06年7月31日(敬称略、順不同)
高橋正樹、多田純也、並木敏子、小島八重子、小島重成、菊地タカ、中村盛義、武田仁、須賀誠子、宮沢光子、北沢三千子、田上喜久枝、那見那志恵、あさえ、吉永和男、和恵、松井孝博、霧田浩明、岩橋雅子、柳守政、吳栄植、高幸秀、本谷あゆみ、石塚かよ子、小泉靖浩、白柳守代、朱美、安藤三郎、山内サチ子、渡辺隆一、河村晴美、中込由美子、榎本恵美子、大内由紀子、川崎哲郎、佐々木亜耶、今井浩一、長島良子、矢部あみ子、片山高司、山口真由美、高橋美奈代、美咲、中西真一、早苗、小貫恵司、大原久美子、遠藤健一、渡辺一之、上平緑、小谷大生、大澤三智子、徳留人美、池田孝雄、家田貞治、江原史郎、田村修子、宮武恭子、石井正幸、奈美、高橋静雄、節子、安川信一郎、我妻典子、千野好子、佐藤和和、岡益代、小野寺千鶴子、福田花子、榎田みよ子、渡邊春枝、北村三枝子、小山陽子、向井芳子、名尾典子、内田真代、浦田裕子、劇場美江子、広山志保子、中村(荒馬座) 佐藤(みなみ板橋)おやこ劇場、矢野(なまこよし保育園)、紺野伊久り(こばと)の森保育園、秋山幸美(黎明保育園)、柳沢拓子(杉並ゆりかご保育園)、泉方子(緑の家保育園)、藤原昭美(とちの木保育園)、智子(こぐま保育園)、北ノ山保育園、新田保育園、陽光保育園、吉野智子(こぐま保育園)、白石とし子(労働者クラブ保育園) 第57回卒園児父母一同、陽光保育園父母の会、練馬「歌とリズム」の会、(株)カントー、福祉保育労働者支部陽光保育園分会、千葉北部酪農農業協同組合、陽光保育園後援会(はらから豆腐販売部、九二商店、網金治彦、みなみ板橋おやこ劇場、けやき測量設計、浅沼利彦、みなみ板橋おやこ劇場、けやき測量設計、浅沼計事務所、追川康、民俗「森越」土屋補代、竹山本店、南古谷第2保育園職員一同、むさしの保育園職員一同、なの花保育園職員一同、印西市大森保育園職員一同

●現在、寄付金と財政活動(物品販売の収益など)の合計は、おかげさまで、14,102,314円に達しています。目標まであと6,897,686円です。今後とも、ご支援ご協力のほど、どうかよろしく願い申し上げます。
●寄付のお願い 1口5000円(何口でも可能です)
下記口座に振り込みお願いいたします。
郵便振替口座 口座番号 00140-0-260468
口座名義 陽光保育園建設委員会
*寄付金控除の対象になります。領収書が必要な方はお書き添えください。